東京大学大学院総合文化研究科
グローバル地域研究機構
地中海地域研究部門

Sセメスター国際研修「イタリアで考古学を体験する」
注意事項

1. 費用

国際研修に関わる費用のうち、渡航航空券代（航空券の手配はこちらで行う）、海外旅行保険料、現地での博物館や遺跡の見学料、交通費、ホテル泊が発生した場合の宿泊代、一部外食代等については、研修参加者の自己負担になっている。なるべく自己負担分の費用は低くおさえるように各種手配は行っているが、研修に参加する場合の目安として、40万円（往復航空券35万円＋上記諸経費5万円）程度を自己負担分として準備しておいてもらう必要がある（この見込み金額に関しては今後の為替動向や航空券の価格変動、イタリアにおける物価高等諸般の事情で増額する可能性もあることに注意すること）。これについて、大学からひとり数万円程度の補助金が支給される可能性があり、今年度の適用について確認中である。

2. 必要手続き・書類

通常の必須事項として、パスポート（有効期限が2026年1月以降のもの）の準備と海外旅行保険の加入がある。また研修への参加には保護者の同意が必要で、既定の書式に保護者が自署した誓約書を大学に提出する必要がある。またアレルギーその他特別な配慮を必要とする疾患などがある場合は、かかりつけ医の診断書等を提出してもらう可能性がある。

3. その他

研修時、現地ソンマ・ヴェスヴィアーナの研究拠点では、個室ではなく、男性・女性を分けたうえで、それぞれ定員5人程度の大部屋に相部屋で宿泊してもらうことになる。また、食事の一部（主に夕食）は、基本的に当番制で自炊してもらう。これら共同生活に関わる諸般の制約を受け入れられない場合は、研修への参加を見送ること。共同生活をするうえで配慮すべきやむを得ない個人的事情がある場合や、アレルギーなど特別な配慮を必要とする疾患などがある場合は、志望動機書の特記事項欄にその旨記入するか、事前に地中海地域研究部門（UTMAS）まで問い合わせること。また、研修への参加は東京での空港集合（出発）から東京での空港解散（帰着）までの全行程への参加を原則とするが、特段配慮されるべき理由が認められれば、現地合流、現地離脱が認められる場合もある。そのような参加形態を希望する場合は、志望動機書提出前に担当者まで直接相談すること。